

檀道河第393号
令和05年01月13日

国土交通大臣 殿

檀原市長

社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年12月23日

計画の名称	安全・安心で住みつけたいくなるまち かしはら											
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	橿原市											
計画の目標	安全安心な市民生活を支え、良好な水環境を保持するため、下水道施設の予防保全を図る。 頻発する局地的豪雨に対し、浸水対策下水道を整備することにより、浸水被害の解消を図る。 橿原市公園長寿命化計画に基づき公園施設の改築・更新を行うことで、公園施設の健全度を高める。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	852	A	852	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R5当初)	中間目標値 (R7末)	最終目標値 (R9末)
1	既設下水道管の調査を毎年度実施し、調査済み下水道管の延長を32km(R5年度当初)から72km(R9年度末)まで延伸させる。 既設下水道管の調査延長(km) (5km×2箇年)+(10km×3箇年)=40(km)	32km	52km	72km
2	浸水対策下水道の整備率を86.8%(R5年度当初)から87.1%(R9年度末)に向上させる。 浸水対策下水道の整備率(%) (整備面積合計)÷(認可面積+認可区域外整備面積)×100(%)	87%	87%	87%
3	公園施設長寿命化対策率を10%(R5年度当初)から57%(R9年度末)に向上させる。 公園施設長寿命化対策率(%) (長寿命化対策完了数)÷(R3年~R12年の長寿命化対象施設数)×100(%)	10%	31%	57%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R05	R06	R07	R08	R09				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	橿原市	直接	橿原市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント支援制度	既設下水道管の調査 L=40km	橿原市						144		-	
	A07-002	下水道	一般	橿原市	直接	橿原市	管渠(雨水)	新設	浸水対策下水道事業	公共下水道(雨水)管の整備 A 4ha	橿原市						220		-	
	A07-003	下水道	一般	橿原市	直接	橿原市	-	-	浸水対策下水道事業	内水浸水想定区域の策定	橿原市						60		-	
												小計						424		
都市公園・緑地等事業	A12-004	公園	一般	橿原市	直接	橿原市	-	-	橿原市公園施設長寿命化対策	各公園施設の更新、老朽化対策	橿原市						428		策定済	
											小計						428			
											合計						852			

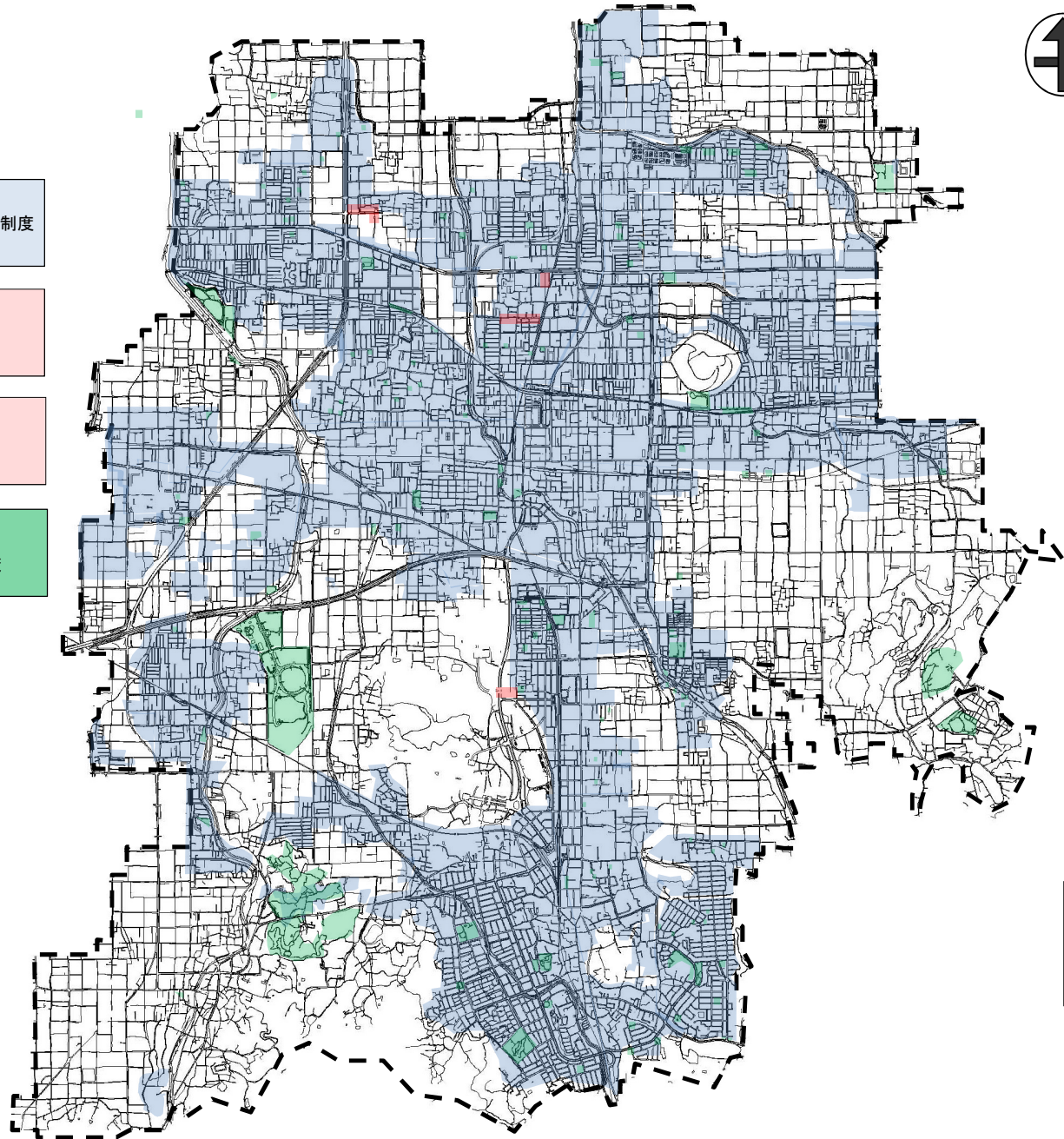
事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心で住みつづけたいまち かしはら

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	安全・安心で住みつけたいくなるまち かしはら		交付対象	橿原市
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）			



下水道事業
A07-001 下水道ストックマネジメント支援制度
(市内全域)

下水道事業
A07-002 浸水対策下水道事業
(公共下水道(雨水)管の整備)

下水道事業
A07-003 浸水対策下水道事業
(内水浸水想定区域の策定：市内全域)

都市公園・緑地等事業
A12-003 橿原市公園施設長寿命化対策

凡 例	
行政区域界	---
下水道事業	■
下水道事業(浸水対策)	■
都市公園・緑地等事業	■